

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成21年3月31日まで）

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	前回の経過	備考
73	B-07023001	女性	7歳	84mg	アセトアミノフェン	夢遊症	回復	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。服用2日目、夜、横臥中、突然立ち上がり、部屋内を夢遊病のように歩き回った。	異常-64	
74	B-07023857	男性	7歳	48 mg	アセトアミノフェン カルボシステイン dl-マレイン酸クロルフェニラミン	異常行動	回復	リン酸オセルタミビル服用後就寝。体温39.3℃。服用約1時間後、起きてトイレに行った。母親に怖い夢をみたと言っていた。トイレから帰って又、寝たがすぐに起き上がり、玄関を開けて外に出ようとした。あわてて母親が止めて又寝かせた。服用は1回のみであった。	異常-65	2008/4/1以降 追加報告
75	B-07026155	男性	7歳	42 mg	鎮咳配合剤(1) 非βリン系感冒剤(3) カルボシステイン メトクロプラミド	異常行動	回復	インフルエンザA型B型混合型治療のため、リン酸オセルタミビル処方。昼寝時、岩が落ちてくる、と言って覚醒する。夜、奇声をあげて走りまわる。服用2日目、朝、解熱。正常に戻る。奇声をあげて走りまわる、幻覚回復。	異常-67	
76	B-07028194	男性	7歳	60 mg	ヒベنز酸チベピジン 塩酸シプロヘプタジン カルボシステイン アセトアミノフェン	譫妄	回復	インフルエンザAに対して、リン酸オセルタミビル、アセトアミノフェンを服用。譫妄発現。「わけのわからないこと」を言い、さらに数時間後「暴れたい」などと口走ったため1回だけの服用で全ての服薬を中止。 服薬中止2日後、同症状は3日間毎夜出現(昼間は異常なし)。 服薬中止4日後、横になると何回も起き上がり、「我慢できない。暴れたい」と口走り、部屋の中を小走りにかけ回った。「頭の中にダンベルが出てくる」ともいい、開眼していたが、目の前の母親ではなく遠うところを見ていた。 服薬中止5日後、本人は「なぜかわからないが暴れなくなった」とのこと。	異常-68	
77	B-08000402	男性	7歳	99 mg	ヒベنز酸チベピジン カルボシステイン	異常行動	回復	インフルエンザA型治療の為、リン酸オセルタミビル服用開始。 服用2日目、深夜、異常行動発現。母親が横に寝ていたにもかかわらず、急に起き上がり「お母さん」とさげんで走り出し、壁にぶつかって顔面を殴打した。しばらく泣いていたが、抱っこしてそのまま入眠。39.3℃の発熱あり。 睡眠中に「どうしてお母さんはそんなに大きいんだ」と怒りだした。母親が身体を丸くして(小さくして)いたが、怒ったり泣いたり、立ち上がったりを15分くらい続けて入眠。37.6℃ その後異常行動回復。インフルエンザの転帰は軽快・回復。		2008/4/1以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成21年3月31日まで）

No	品名	性別	年齢	投与量	成分名	副作用	経過	経過の概要	前回のNo	備考
78	B-08024158	男性	7歳	45 mg		異常行動	回復 回復	インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル服用開始。 約9時間後、異常行動、幻覚発現。突然起きだし人を追い払うような動作とともに家中を逃げ回った。階段の昇り降りを数回繰り返す、母親が制止しても恐い恐いと叫んでいた。しばらく母が介抱したら、大人しくなって寝た。患者の記憶なし。 服用2日目、本剤投与。約6時間後、異常行動、幻覚発現。 「虫がいて怖い」と祖母に伝え泣いていた。家中を落ち着きなく歩き回っていた。祖母に介抱されておとなしくなった。患者の記憶あり。 その後他院に紹介され、脳症の疑いもあるとのことで副作用以外に入院も勧められたが、本人、患者家族の希望で入院は避け、自宅療養。本剤服用は以降中止。 本剤服用中止から3日目に来院し、インフルエンザ、異常行動、幻覚とも回復していたことを確認。		2008/4/1以降 新規報告
79	B-08027285	男性	7歳	100 mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	前日夜より40℃近い発熱があり、インフルエンザ迅速審査でA型陽性。3歳時リン酸オセルタミビル服用歴あり。異常なかったため本剤処方。 昼、に本剤1回服用し、ねていたが急に起きあがり机のまわりをぐるぐるまわる、コップわたすと水に手を入れる、ふとんの一点をみつめている等の行動発現。 翌日には回復。		2008/4/1以降 新規報告
80	B-08027730	男性	7歳	投与量 不明		異常行動	回復	インフルエンザA型に対しリン酸オセルタミビル服用。 2回服用後、異常行動発現。わけもなく物を探しまわる、トイレに行き水のみ流す、便器に手を入れ何かとろうとする。（ただ、以前から発熱したりするとうなされたリフトンの上のみで何かをさがそうとするような行動があった。ただ今回はこれまでに達する印象を強く受けた。		2008/4/1以降 新規報告
81	B-08028876	男性	7歳	投与量 不明		異常行動	不明	インフルエンザに罹患。夜、リン酸オセルタミビル服用開始。異常行動発現。夜中に起き上がるなどが2～3回続いた。その他うわ言、手の振るえなど。 服用開始から4日目、昼、熱はさがったが、勝手に部屋から出て別の部屋にいった。トイレではないといい、隠れただけだとかなんか変なことを言っている。		2008/4/1以降 新規報告
82	B-07025434	男性	8歳	54 mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用。 患児が入眠したことを母が確認した。約30分後に屋外に立っているところを発見された。うつろな目でボーとしていた。尿失禁をしており、風呂場へ行ったところ「靴下のほつれが怖い、洗濯籠が怖い」と泣いた。シャワー浴後に就寝。 約2時間後、異常行動回復。	異常-66	2008/4/1以降 追加報告
83	B-02014446	女性	8歳	36mg	セフボドキシムプロキシセチル トシル酸スルタミシリン ヒベンズ酸チベジン カルボシステイン	高揚状態	回復	発熱により他院受診。セフボドキシムプロキシセチルが処方。2日後、リン酸オセルタミビル他を夕方より服用開始。服用開始2日後、気分高揚症状発現。母親によるとぼろ酔い状態であるとのこと。服用開始4日目の朝で服用中止、その後次第に気分高揚状態が軽快。服用後7日後に回復。	異常-69	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成21年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	服用薬	副作用	経過	経過の概要	前回の経過	備考
84	B-05000677	男性	8歳	84mg		意識変容 状態 異常行動	回復	前日来の発熱のため受診し、インフルエンザAと診断されリン酸オセルタミビルを投与。投与後2時間後に意味不明な発言、意識障害、行動異常が発現。近医を受診したが神経学的異常なく無処置で帰宅。その後再度服用すると、その後より急に起き上がり、歩き回り、幻覚も合併。救急外来を受診。異常運動を認め入院。輸液治療により7時間後に回復。	異常-70	
85	B-05001224	男性	8歳	110 mg	d-マレイン酸クロルフェニラミン パモ酸ヒドロキシジン	幻覚 落ち着きのな き 異常行動	回復 回復 回復	インフルエンザA治療のためリン酸オセルタミビル投与。本剤服用後入眠しその3時間後、覚醒直後から幻覚などの異常行動出現。当日中に再度受診し、生食点滴にて症状回復。	異常-71	
86	B-05018854	男性	8歳	112mg	臭化水素酸デキストロメトルファン カルボシステイン アセトアミノフェン	異常行動 (精神症 状(異常 行動))	回復	発熱有り受診し、A型インフルエンザと判断される。本剤投与後、仮眠しその1時間半後異常行動発現。突然起き上がり、玄関から飛び出していこうとした。1時間程で異常行動抑制され、次第に記憶回復。状態が落ち着いてきたところで受診。頻脈、多呼吸、チアノーゼ等なく経過観察。翌日解熱し、その後も精神症状なし。	異常-72	
87	B-05021659	男性	8歳	102mg	カルボシステイン ヒベンズ酸チペピジン ソリタール-1(点滴) 酢酸維持液(ブドウ糖加)(点滴)	異常行動	回復	確認診断にて、本剤、アズベリン、ムコダイン処方。 本剤投与5時間後、異常行動(人形に話かける、部屋を歩き回る、意味なく笑い出す、九九を唱えるなど)発現。 救急車にて来院し入院となる。 入院時、意識ほぼ清明。 翌日、解熱する。 本剤投与し続けるも異常行動発現なし。処方全て服用する。	異常-73	
88	B-05022380	男性	8歳	60mg	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸アンブロキシオール 塩酸シプロヘプタジン アセトアミノフェン	異常行動	軽快	発熱、咳嗽にて本剤処方。 本剤、解熱剤服用後、異常行動発現(奇声をあげる、意味不明な事を言う、数が数えられない、自分の年齢がわからない)し、入院となる。 入院時、点滴のみで観察。異常言動なし。 翌日、自分で点滴除去、病棟内を一人でうろつく。 脳波異常所見あり、MRI異常所見なし。 3日後、異常言動軽快退院	異常-74	
89	B-05022780	男性	8歳	46.5mg	トラニキサム酸 メキタジン	異常行動 激越	回復	髄膜炎の既往歴あり。発熱のため、確定診断後本剤処方。体温39.6℃、2回目服用後、就寝するが、激越発現(急に大声でわめきながらおきる)。その後翌日正午まで、異常行動(異常な発言とともにベットや机、椅子の上に乗リピョンピョン跳び上がる。家中を歩き回る。)継続する。 起床するが、覚えていなく、ボーっとしている。本剤の服用中止する。その後2日間は16～18時間の睡眠をする	異常-75	
90	B-05023443	男性	8歳	93 mg	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸ブロムヘキシン 塩酸シプロヘプタジン	異常行動	回復	発熱(39.5℃)、インフルエンザA型、咳、鼻症状にてアズベリン、ピソルボン、ペリアクテン、本剤を処方。 本剤服用後、精神神経症状(二段ベットの上段で手を広げて立ち上がる、ベットから降りてベランダへ走って行き手すりにつかまって飛ぶ動作等)、尿失禁発現。 翌日、投与中止し、精神神経症状、尿失禁回復	異常-76	
91	B-05025720	男性	8歳	不明	解熱剤(不明)	異常行動	軽快	A型インフルエンザ治療のため本剤服用開始。2回目本剤と解熱剤服用30分後に異常言動(にたにた笑う、両手で何かを握もうとする)発現。救急車にて入院。夜間異常言動あり(ベッド柵を乗り越えようとする、意味不明な言葉を発する)。翌朝意識清明で、脳波、MRIに異常所見なし。入院3日目に異常言	異常-77	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成21年3月31日まで）

No	症例番号	性別	年齢	体重	投与薬	副作用	経過	経過の概要	前回公開No	備考
92	B-05026722	女性	8歳	54mg	ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン アセトアミノフェン	精神症状	回復	A型インフルエンザで発熱(39.8℃)が見られ、リン酸オセルタミビル服用を開始。投与開始日の夜に40℃の発熱とともに奇声をあげて起き上がり、室内を歩き回る中枢神経症状が発現した。その後リン酸オセルタミビルの服用を中止した。投与開始から2日目の昼も同様の症状がみられた(体温37.5℃前後)。投与開始から3日目は中枢神経症状がみられていない(体温39.5℃)。その後、投与開始から5日目に中枢神経症状が回復した。	異常-78	
93	B-07000086	女性	8歳	120mg	ヒベンズ酸チペピジン フマル酸クレマスチン アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用2時間後、異常行動発現。急に起き上がり「トイレ、トイレ」とさげび部屋を走り回るためおさえる。5～6分続く。翌朝、服用後、寝たままわけのわからないことを言うので、様子を聞くと「さわるな」と言ってあばれる。5～6分続く。その後も服用は続けたが異常行動の発現なし。	異常-79	
94	B-07000288	男性	8歳	42 mg	クラリスロマイシン	異常行動	回復	インフルエンザA治療のため、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用5～6時間後、部屋を意味も無くうろろする。急に水遊びをしだす。その後、布団が重いと言い出し、突然2階に駆け上がり、父親の枕を取り上げた。その後、1階に駆け下り、父親が取り押さえた。熱は38.5度。3回目から服用せず。解熱剤の併用もなし。夜間のエピソードの記憶はなかった。	異常-80	
95	B-07001354	女性	8歳	60 mg	カルボシステイン 塩酸アンブロキシール	異常行動	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル投与開始。服用開始2日目、酸素マスクをはずして、点滴のラインとカチャカチャがつけていた。声を掛けると我に返った。ベッドの上に立ち上がった。声をかけても反応無し。手をベッドにぶつける。服用開始から6日目、異常行動回復。	異常-81	
96	B-07003582	女性	8歳	90 mg	カルボシステイン リン酸ジメホルファン 塩酸シプロヘプタジン	異常行動	回復	インフルエンザA型の診断にてリン酸オセルタミビル処方。1回目服用1時間後、突然2階に走っていき、部屋をウロウロする。翌朝までずっとウトウトしていた。夜、2回目服用。夜間、犬を呼ぶ動作、物を食べる動作、家の中を徘徊、手を何回も洗う、尿失禁等がみられた。翌朝、40℃の発熱。朝からボーッとしており、呼びかけへの反応も乏しい状態が続くため、受診。精査加療目的に入院。脳波上、全般性の徐波を認め、MRI所見なし。髄液所見なし。脳症の可能性を考え、メチルプレドニゾン投与を施行。翌日、意識清明となり経過良好。	異常-82	
97	B-07013003	男性	8歳	150mg	シメトリド・無水カフェイン ヒベンズ酸チペピジン dl-塩酸メチルエフェドリン	異常行動	回復	A型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。夕方、本剤服用後、異常行動が発現(ベッドからとびおりる。廊下を走りまわる。大声でわらう。意味不明の事を言う)。体温は40.2℃。服用2日目、本剤服用。体温は37.4℃。異常行動回復。	異常-83	
98	B-07013253	男性	8歳	84 mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	A型インフルエンザの診断にて、リン酸オセルタミビル服用開始。服用開始から3日目、内服後、2階の部屋より階段へ飛び出す異常行動が発現。特別な処置はなし。本剤中止。服用開始から5日目、熱が37.2℃。その後、異常行動は回復。	異常-84	
99	B-07013258	男性	8歳	120 mg		異常行動	回復	夜間、40℃の発熱があり、A型インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビル処方。1回服用後、嘔吐。服用2日目、2回服用後5～10分の間、騒ぐ。その後、ベランダへ出て行った(マンションの10数階)。母親が部屋に連れ戻した後、続いてトイレへ駆け込み、大声を上げる。本人は一連の記憶なし。その後、寝かしつけ、異常行動は回復。	異常-85	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成21年3月31日まで）

No.	前記番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前記番号	備考
100	B-07013304	男性	8歳	100 mg		意識レベルの低下	回復	リン酸オセルタミビル服用開始。同日、意識混濁が発現。自宅の外に出るが、その後、意識混濁は回復。	異常-86	
101	B-07013310	女性	8歳	45 mg		異常行動	回復	リン酸オセルタミビル1回目服用約2時間後、理由無く外に飛び出そうとする。異常言動発現。家族が止め大事には至らなかった。服用3日目、異常言動回復。発熱もなくなったため、本剤中止。	異常-87	
102	B-07013385	女性	8歳	99mg	アセトアミノフェン 酒石酸アリメタジン ヒベンズ酸チベピジン 塩酸アンブロキシール	異常行動	回復	朝より38.0℃の発熱あり、検査にてインフルエンザA型と判定し、リン酸オセルタミビル等処方。服用2日目、昼、寝ていた子供が急に大声を出して親に命令口調でしゃべりだし、走り出して暴れた。5分後位でおさまり本人はまた寝ていた。事象発現から30分後に異常行動は回復。その後、そのことについて本人に聞くもまったく覚えていない。約2週間後、昼、発熱。夜中には39.5℃まで上昇。突然わけのわからない事を大声で叫び、走り出し、兄に襲いかかった。また何かが見えると幻覚症状を訴える。身体を震わせて混乱した様子だった。翌日、受診し、インフルエンザB型と判定。前回と同じ薬を母親が希望。本剤服用いかんにかかわらず、同様の症状出現。	異常-88	
103	B-07013400	男性	8歳	90 mg	クラリスロマイシン メキタジン カルボシステイン	異常行動	回復	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用3日目、夜、38.4℃の発熱があり、入眠。服用4時間後、深夜、ぶつぶつとつぶやきながら歩き回っていた。引き戸のロックを外してベランダを出ようとしていたの、母が声をかけると止まった。次第に落ち着いて2時間後には入眠。異常行動回復。服用4日目、朝、起床時は異常なし。	異常-89	
104	B-07020496	女性	8歳	90mg	カルボシステイン ヒベンズ酸チベピジン d-マレイン酸クロルフェニラミン	異常行動	回復	午後、39℃の発熱、鼻汁、咳等の症状にて来院し、インフルエンザキットにてA型インフルエンザと診断。リン酸オセルタミビル処方。夕方、1回目服用。その後寝ていた。服用5時間後、睡眠中に突然起き上がり、部屋のドアを開け「パパおかえり」と言った。服用8時間後、ふとんから起き上がり、ニヤニヤしていたため、母親が「大丈夫？」と声をかけたら「うん」と言った。翌朝、いつも通りで、体温37.1℃。特に変化なし。	異常-90	
105	B-07020966	女性	8歳	38 mg	クラリスロマイシン 耐性乳酸菌製剤(3) ヒベンズ酸チベピジン カルボシステイン フマル酸ケチフェン ツロブテロール アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザ罹患児と接触あり。その後発熱し来院。来院時、咳がみられ、訳の分からないことを言っていた。リン酸オセルタミビル等処方。寝たり起きたりといった異常言動あり。同日晚、リン酸オセルタミビル服用。服用4時間後、走り出す、逃げるなどの異常行動発現。親が押さえてとめられた。	異常-91	2008/4/1以降追加報告
106	B-07021970	女性	8歳	52.5mg	塩化リゾチーム カルボシステイン	異常行動	回復	姉がインフルエンザA型加療中のところ、起床時37.6℃発熱ありとのことで、迅速検査で陰性だったが、臨所見よりインフルエンザを疑いリン酸オセルタミビル処方。終日発熱は37℃台で、本剤服用させなかったとのこと。併用薬は服用。翌日、起床時、40℃にて本剤服用。その後入眠し、1時間後、「姉が暴れて寝られない」と泣きながら自室より出てくる（姉は登校後）。家人が落ち着くよう諭し、すぐ落ち着く。電話連絡あり、本剤の服用中止を指示。	異常-92	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成21年3月31日まで）

No	処方番号	性別	年齢	用量	剤形	副作用	経過	経過の概要	前回公開No	備考
107	B-07023327	女性	8歳	78 mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型と判定され、リン酸オセルタミビル処方。帰宅後本剤服用し、2階にて就寝(昼寝をしていたが、母親が気がついたときには1階をうろろしていた(急に2階から1階に降りた)。母親がどうしてうろろしているのか子供に尋ねると我に返ったようで、1階に降りた記憶が無いとの事。この時点では本剤服用中止せず。寝ているときも寝言が多く天井に向かい両手を盛んに動かすといった異常行動発現。 服用2日目、就寝中寝言や、手を払いのける行動あり。再診時は異常な様子は見られなかった。 服用4日目、異常行動回復。	異常-114	2008/4/1以降追加報告
108	B-08004441	男性	8歳	80 mg		異常行動	回復	インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル服用開始。 深夜、突然起き上がり、意味不明の言動あり。枕に頭をぶつけたりしていた。更に夜中に起き上がり、1人でどこかに行こうとしていた。母が気がつき布団の中に入れたらすぐに眠った。 服用2日目、本剤服用したが異常行動は見られず、回復と判断。		2008/4/1以降新規報告
109	B-08024887	女性	8歳	90 mg		異常行動	回復	高熱により来院。検査の結果はインフルエンザ陰性。抗生剤を処方するも高熱下がらないため、翌日再来院。検査結果、インフルエンザ陽性。インフルエンザA型治療のためリン酸オセルタミビル服用開始。 翌日、異常行動発現。昼に本剤を服用後に寝ていた患者がふらふらと立ち上がり部屋の外に出たところを患者の弟が発見。母親に連絡しベッドに連れ戻す。寝かした後は特別なことはない。特に叫んだりといった行動は伴わなかった。 本剤服用終了から2日目、来院時に以上の報告があった。		2008/4/1以降新規報告
110	B-08027726	男性	8歳	100 mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル服用開始。 服用2日目、昼、異常行動発現。昼頃より室内をうろろし始め、「人がいる」「ぞうきんで歩いて歩いて」などの異常言動、幻覚があり、体温計でふとんをたたいたり、電気コードをぐるぐると手にまきつけたりした。 夜半には異常行動の転帰回復。		2008/4/1以降新規報告
111	B-08027896	女性	8歳	48 mg		異常行動	回復	朝、リン酸オセルタミビル1回目服用。 服用約5時間後、異常行動発現。昼寝をしていて突然目をさまし少し笑って「今日は何日だっけ?」と言ってとなりでいた弟をみて、恐がって骨があると泣く。その後かけ出してリビングルームに行き、幼稚園がどうのこうのと意味不明のことを言い、目つきがおかしかった(三白眼様)。その後物をつかむような動作を反復し、何をしているのかと聞くと、本人は骨を拾っていると言って「何でそんなこと聞くの?」と泣いた。その後泣き止んでソファーに坐りいつもと変わらない様子になった。この間2~3分の経過とのこと。		2008/4/1以降新規報告
112	B-08029997	男性	8歳	投与量不明		異常行動	回復	インフルエンザA型と診断され、昼、リン酸オセルタミビル服用。 服用1時間後、異常行動発現。熱が39℃の状態で、怖いとうわごとを言い、急に笑いだした。 夜、本剤服用。 服用2日目、朝方4時に突然におきだし階段を降りようとし、抑えて落ち着いた。大声で笑ったり、興奮状態になった。 朝、本剤服用。その後、異常行動はおこらなかった。		2008/4/1以降新規報告

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成21年3月31日まで）

No	症例番号	性別	年齢	一日用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	前回公開No	備考
113	B-02002847	男性	9歳	75mg	アスピリン ワルファリンカリウム ジピリダモール カルボシステイン リン酸ジメメルファン	譫妄	回復	B型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル75mg/日を投与開始。投与1回目の1時間後に意味不明の発語及び行動が観察される。有害事象発現3時間後に回復、有害事象発現時の記憶なし。以後本剤の服用中止。	異常-93	
114	B-03005859	男性	9歳	150mg	塩酸セフカペンピボキシル セラペブターゼ フェジソ酸クロベラスチン	無感情 異常行動 意識レベルの低下	回復	微熱が持続していたため、臨床的にインフルエンザと診断、リン酸オセルタミビル投与開始。本剤投与2日後返答しない、活動性低下の変化を認め、本剤投与中止。中止後、翌日、翌々日と突然意味不明の発言や行動が見られる。その後、徐々に活気改善し異常行動認められず。	異常-94	
115	B-05000151	男性	9歳	不明	セフトラムピボキシル 酪酸菌製剤 カルボシステイン	幻覚 落ち着きのなさ	回復	B型インフルエンザ治療のため、投与量不明のリン酸オセルタミビルを投与開始。2回目投与の2時間後、異常な発言、歩き回る状態が見られ、パニック状態となる。有害事象発現3時間半後に救急受診したときには意識清明、回復、本剤投与中止。その後は有害事象発現せず。	異常-95	
116	B-05021185	女性	9歳	84mg	カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン ヒベンズ酸チベピジン アセトアミノフェン	譫妄（せん妄状態）	回復	発熱（40℃）インフルエンザA診断確定後リン酸オセルタミビル投与開始。朝夕服用後入眠、2時間後覚醒し譫妄発現（部屋の中を走り回る。）（本人は覚えていない。）譫妄状態持続時間30分、一旦入眠するが2時間後に再発30分で回復。発現中は発熱なし。翌朝40℃発熱、入院し輸液により解熱。その3日後退院。	異常-96	
117	B-05024835	男性	9歳	50 mg	アセトアミノフェン	譫妄	回復	A型インフルエンザで発熱（39.2℃）が見られ、リン酸オセルタミビルを服用した。服用開始から約2時間後にせん妄（突然起きあがる。走り出しそうな感じが有り、押さえつける、会話不成立、手足をばたばたさせるなど）を発現し、投与中止後もせん妄が数回見られた。せん妄は事象発現から6日目に回復し	異常-97	
118	B-05024837	男性	9歳	99mg		幻覚	回復	A型インフルエンザで発熱（38.8℃）が見られ、リン酸オセルタミビルを服用した。服用開始から約1時間後に幻覚等（玄関から外出するなど）が発現し、その後幻覚の症状は回復した。投与開始から約10時間半後にリン酸オセルタミビルを服用したところ、その約1時間後に幻覚が発現し、幻覚は約5分程度で消失した。	異常-98	
119	B-05025584	女性	9歳	54mg		異常行動	回復	A型インフルエンザにてリン酸オセルタミビル服用開始（39.1℃）。昼前1回目服用約4時間後に異常行動（部屋の中を急にウロウロ歩き回る）発現。その後、安静にて就眠。同日再診し溶連菌＋を確認、本剤中止、水分補給、安静を指示。翌午前異常行動回復、インフルエンザも回復。	異常-99	
120	B-06025100	男性	9歳	30 mg		異常行動	回復	39℃の発熱、頭痛あり、夜、インフルエンザ陽性のため、リン酸オセルタミビル処方。深夜、起き上がろうとしたり、意味不明な話をしてくるといった入眠中の異常行動発現。本人は覚えていない。その後、本剤服用せず。救急外来受診し、入院。ザナミビル服用し、特に問題なし。	異常-100	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成21年3月31日まで）

No.	識別番号	性別	年齢	用量	薬剤名	副作用	経過	経過	経過	経過
121	B-07000097	男性	9歳	75 mg	カルボシステイン	幻覚	回復	リン酸オセルタミビル服用開始。2回目服用後、深夜、幻覚が発現し、10数回、起き上がり逃げ回った。翌朝、投与中止。翌々日、幻覚は軽快。	異常-101	
122	B-07000198	男性	9歳	60 mg	アセトアミノフェン	譫妄	軽快	38.8℃の発熱があり、午後8時30分、リン酸オセルタミビルを内服し就寝。その後突然覚醒し異常な発言、再び入院したが次に目を覚ましたとき「行かないや」と言って玄関に向かって行った。約30分後、せん妄状態発現。深夜0:00、救急車を要請し、救急車が到着した頃はほぼ普通にもどっていた。37.3℃。0:25、来院。来院時意識清明。せん妄状態軽快。	異常-102	
123	B-07000262	女性	9歳	42.6mg	クラリスロマイシン フマル酸ケトチフェン ヒベンズ酸チペピジン	異常行動	回復	インフルエンザB型と診断。リン酸オセルタミビル服用後、睡眠。その30分後ベランダに向かって走り出したため、トイレに隔離したところ叫び声をあげていた。	異常-103	
124	B-07012129	男性	9歳	150 mg	アセトアミノフェン 鎮咳配合剤(1) 非ピリン系感冒剤(4) メフェナム酸	異常行動 幻視	回復 回復	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。服用2日目、朝、突然ワーと発声しながら部屋の中を走り回る。包丁を持った男の人が追いかけてくるという幻視。意識清明で、この時の記憶あり。事象発現から4時間後、家族が買い物から戻ると、庭の隅でかかっている。上記と同様の幻視で隠れていたとのこと。1回目事象発現から6時間後、緊急入院（本剤服用中止）。その後、幻視、異常行動はなし。	異常-104	
125	B-07013252	男性	9歳	不明		異常行動	回復	リン酸オセルタミビル服用開始。服用約3時間後に、窓を開け飛び出そうとした。家人がとめたので事なきを得た。患者に「どうしたの?」と聞くと、「魚釣りに行く」と答えた。服用開始2日目、異常行動は回復。本剤は服用4日目まで投与継続。この間、異常行動は認められなかった。	異常-105	
126	B-07013257	女性	9歳	42.45mg	塩酸アンブロキシール カルボシステイン アセトアミノフェン ヒベンズ酸チペピジン 塩酸シプロヘプタジン	異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用。服用後、寝ていたが30分ほどして起きて外へ飛び出そうとした。一旦落ちていたが、再びパジャマをビリビリに破るくらい暴れたため、病院へ搬送。その後回復。	異常-106	
127	B-07013259	女性	9歳	93 mg	ヒベンズ酸チペピジン d-マレイン酸クロルフェニラミン ラクタミン 鎮咳配合剤(1) 塩酸ツロブテロール カルボシステイン	激越	回復	インフルエンザA型の診断で、リン酸オセルタミビル処方。夕方、本剤2回目服用後、横になってテレビを見ていたが、服用約1時間後、「怖い」と言って部屋を飛び出し、父親がやっと抑えることができた。その後も本剤服用を継続するも問題なし。	異常-107	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成21年3月31日まで）

No.	識別番号	性別	年齢	一日用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	副作用No.	備考
128	B-07013313	男性	9歳	75 mg	アセトアミノフェン ノルフロキサシン	異常行動	回復	倦怠感、38.6℃の発熱。インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル服用開始。就寝1時間後、突然に暑い暑いと騒いで窓を開けて雪の降る外に飛び出した。母親が帰るように言っても、なかなか帰って来ず外でぼーっとしていた。母親は「寒いから窓を閉めるよ」と言ったら、とぼとぼと帰ってきた。しばらくして就寝した。 服用2日目、朝、前夜の記憶なし。	異常-108	
129	B-07013329	女性	9歳	90 mg	レバミピド ドンペリドン	異常行動	回復	キットを実施したが陰性、臨床診断(39℃の発熱)で、インフルエンザと判断し、リン酸オセルタミビル処方。 朝夜、本剤服用し、就寝後、急に目を開いて立ち上がる。「ここにはいられない、外に行かなきゃ」と言って玄関から外に出ようとしたが母親が抱きかかえて止め、再び寝た。事象発現1～2時間後、また起き上がり「学校に行かなきゃ」と言って窓のカーテンを開けた。再び母親が抱きかかえ止め、そして寝た。更に1時間後、再び起き上がり「学校に行く」と言って起き上がった。体温は38.5℃。翌朝、母親の判断で本剤中止。異常行動回復。	異常-109	
130	B-07013330	男性	9歳	30 mg		異常行動	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル投与開始。深夜、突然一人で起きだして、玄関から外に出て、1メートル以上の柵を乗り越えて外に走り出した。 その後、異常行動は回復。本人は全く覚えていない。	異常-110	
131	B-07013375	男性	9歳	75 mg	アセトアミノフェン リン酸ジメメルファン チアミン・ニコチン酸アミド配合剤	記憶障害 異常行動	回復 回復	インフルエンザA型診断、リン酸オセルタミビル処方。夕方、本剤1回目服用数時間後、自宅庭を徘徊しているのを家族が見つかる。夜間、奇声を発する。本剤は1回のみ服用し、その後は中止。服用2日目、回復。前日夕方よりの行動について記憶がなかったとのこと。	異常-111	
132	B-07013396	女性	9歳	108 mg	メクロプラミド クラリスロマイシン ペミロラステカリウム カルボシステイン 開始液(1) リン酸ジメメルファン メクロプラミド アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。1回目服用約2時間後、目つきが変わって、しきりに外に出ようしたり、何か訳のわからないことを言ったりした。多量の発汗があった。服用2日目、異常行動回復。 服用5日目、残りの本剤をすべて服用するも同様の症状の出現なし。	異常-112	
133	B-07015225	男性	9歳	150 mg		睡眠時驚愕	回復	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用2日目、早朝、起床時、突然意味不明の事を叫び出し、階下より3Fまで走って上り、悪夢に怯えるような状態が30分～1時間持続。この時発汗や顔面紅潮を伴っていた。この時の事を本人は記憶していない。本剤中止。 服用中止4日後、夕方から眠っていたところ、衝動的に覚醒、まとまりない言辞あり。服用中止7日後、8日後、12日後、13日後、15日後、16日後、18日後、27日後に同上のエピソードが短時間あり。	異常-113	
134	B-07023858	女性	9歳	138 mg	ヒベンズ酸チベピジン dl-塩酸メチルエフェドリン アセトアミノフェン	異常行動 異常行動	回復 回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。発熱40℃。同日夜、就寝中急に起き上がり、部屋の中をぐるぐる回ったり、意味不明なことをぶつぶつ言ったりしていた。発熱40℃。事象発現5分後、症状回復。服用2日目、朝本剤服用。発熱39℃。夕方、再度徘徊、一人言などあり。すぐに症状回復。前日と同様であったが、持続が短かった。その後、本剤服用するもはおかしな行動は見られない。	異常-115	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成21年3月31日まで）

No	品名	性別	年齢	用量	成分	副作用	経過	経過の概要	副作用No	備考
135	B-07026154	男性	9歳	57 mg	ヒベズ酸チペビジン カルボシステイン 臭化水素酸デキストロトルファン アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル服用し、就寝。 服用3時間後、突然異様な目つきで階段を駆け上がった。親が取り押さえて 眠りについた。その後、異常行動回復。	異常-116	2008/4/1以降 追加報告
136	B-08001747	男性	9歳	102 mg	セフジニル ピフィズ菌製剤(4) 塩酸アムロキシール	異常行動	回復	インフルエンザA型およびB型同時感染のため、リン酸オセルタミビル服用。 体温は38.0℃。他併用薬服用。 服用2日目、体温37.8℃。朝、本剤、他併用薬服用。夜、本剤、他併用薬服用 後、患者本人が母親の寝床の枕のところで泣きながらあやまっているのを見 て、弟が階下にいる母親に知らせに行った。本人も一緒に階下に降りて、お びえて母親に抱きつき、あたりを見まわしたり、「こわいよ、ごめんなさい。死 にたい」と不穏であったが、一旦横になっていた。深夜、起き上がり「トイレに 行きたい」と言ったが、トイレに行かないでテレビの前に座って「うらぎられた、 うらぎられた」とおびえて震えていた。死にたい、こわい等を言う。不穏状態を 繰り返し、1時間くらい経って寝た。この間目つきが異常で力が強い。 以後本剤中止。異常行動回復。		2008/4/1以降 新規報告
137	B-08011279	男性	9歳	55 mg	ヒベズ酸チペビジン 塩酸アムロキシール ツロブテロール	異常行動	回復	インフルエンザA型と診断。発熱38.3℃。 リン酸オセルタミビル服用開始。 服用約3時間後、父親のことを「いいい」と言ったり、自分の名前と父親の名 前を間違えたり、「1+1=1」と答えたりした。その後部屋を出てトイレに行き、さ かんに足をさすっていた。呼びかけに対して不正確な対応発現。 服用4時間後には異常行動回復。 服用2日目、リン酸オセルタミビル2回目服用。 当院受診するも神経学的異常は見られなかった。リン酸オセルタミビル服用 中止。 本剤服用中止から2日目、インフルエンザ軽快。		2008/4/1以降 新規報告
138	B-08028295	男性	9歳	33 mg	セフテラムピボキシル カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン 耐性乳酸菌製剤(3) アセトアミノフェン	異常行動	軽快	翌朝、本院受診。インフルエンザ確定診断実施し、その結果、インフルエンザ A型。リン酸オセルタミビル、抗生物質等を処方。 本剤、抗生物質等を服用。 服用2時間後、異常行動発現。急に動きまわる。会話が合わない。数分で回 復し、普通の会話をし入眠。再び目覚め同じような異常行動を3回くり返す。 服用約5時間後、電話にて母親よりうったえがある。異常行動をくり返している ため、入院を勧める。 服用約6時間後、他院に入院。ザナミビル水和物をすぐ吸入。夜、再びザナミ ビル水和物吸入。 同日深夜、高熱40℃続き、ベッドの上で寝ていたが、急に起き上がり、変な手 の動きをするなど、異常行動を数回くり返すが、ベッドから下りて歩き回るよう なことはなかった。 本剤服用終了から2日目、解熱、異常行動なし。ザナミビル水和物、抗生物 質等は継続中。		2008/4/1以降 新規報告
139	B-04008522	男性	10歳	75mg	ジプロフィリン・メトキシフェナミン配 合剤 カルボシステイン アセトアミノフェン	意識変容 状態	不明	インフルエンザA型と診断、昼食後リン酸オセルタミビル75mg他を服用し、就 寝。3時間後、意識障害をおこし、マンション6階のベランダから飛び降り、外 傷等により搬送。以前に発熱時に本人の無意識下に歩き回る程度のことは 認められたとの由。	異常-117	